

はばたき

平成29年

10月31日

第93号

発行者 社会福祉法人 新生会 障害者支援施設 第二新生園 鈴木 長 幸
岩手県紫波郡矢巾町大字太田 17-54 TEL(019) 697-8011 FAX(019) 697-8013



～ おもな内容 ～

発行にあたって
平成28年度収支決算報告書
各事業から
行事の様子
・日帰り旅行
・お楽しみふれあい会 他
お知らせ・後期の予定



行政区長さんと一緒にジャガイモ掘りをし、その後にかき氷を食べた時の様子です。作業で汗を流した後のかき氷の美味しさは格別でした。



ホームページもご覧ください！

岩手 新生会

検索



QRコードからもご覧いただけます

「発行にあたって」

理念を共有して

当園も開設以来30年の年月が流れようとしています。その間のことを見聞きすると、当然のことながら様々な変化を感じます。その一つが、園に足を運んでくださる保護者さんがめっきり少なくなってきたということです。要因の一番は、保護者さんの高齢化や家族状況の変化だとは思いますが、園側にもそれがやむを得ないことと固定的に考えてしまっている向きもありました。施設運営にあたっては、保護者からの理解と協力（連携）が不可欠であることは言うまでもありません。今は多くの連絡手段があり実際に活用してきてはいるものの、園に足を運ぶ保護者さんが少なくなっていることはやはり課題でもあります。

今年度始めの保護者会総会で、奉仕活動のことが話題となり、賛同する声が多く聞かれました。そして、具体的企画は保護者会理事事に委ねられました。7月27日（金）午前中、十数名の参加者を

施設長 鈴木長幸

得て奉仕活動が実現しました。男性は広い園庭の草刈、女性はウエス作り、雑巾縫いとに役割を分担し作業を行っていただきました。お陰様でいつもの時期は雑草が伸び放題の園庭がスッキリ、また支援の際に使用頻度の高い雑巾の貯えができました。汗を流した後の昼食を囲んだ懇談の場では、このような機会があると園にも来易いとの声が聞かれました。しかし、一方では気持ちがあっても参加が儘ならない保護者さんも依然としておられます。個々の事情を尊重しながら、無理のない範囲で継続されるよう一緒に関わりながら見守っていきたいと思っています。

男性1名の新たな入所利用者を迎え、利用者さん84名、職員43名でスタートした平成29年度も早いもので上半期を経過しました。日帰り旅行を始めとした行事や工夫に努めている日中活動、そして就業事業も新たな作業をいただくことができています。今年度も保護

者、関係、地域の皆様方のご理解とご支援により運営計画のとおり推移しております。

これまで受講した研修を通して、福祉においては『理念』に基づいた事業を展開することの重要性を改めて学びました。業務に追われる日々の福祉現場では、どうしても目の前のことに傾注しがちになります。しかし、利用者さんにとっては、一日一日の生活がかけがえない人生です。職員は支援をとおしてその人生に関わっているという認識を持つことがとても大事であり、法人の理念「輝く命」は、利用者さんの人生への願いそのものです。昨年度末の職員研修会において、この「輝く命」を『利用者さんの命を大切に、人権を尊重し、自立を願い、一人一人にとって安心できる生活・活動の提供をとおして、そのかけがえのない人生を支える』と解釈し、共通理解を図りました。そして新年度運営計画にも職員全員がこの信念を共有し、家族、地域、関係の皆様との理解と協力を得ながら、『輝く命』の具現化に努めることを明示しました。

さて、来たる平成30年4月は『障害者総合支援法3年後の見直

し』の実施、市町村では『第5期障害福祉計画』の策定・実施、サービス報酬の改定等、制度の変化が目白押しです。当園に目を移すと、今年度は法人の第IV期中期経営計画（平成27～29年度）の最終年度にあたり、項目数ベースでは約70%強の進捗状況となっています。また、福祉サービス第三者評価の受審、生活介護棟整備の具体的取組の年でもあります。着実に実行していきたいと思っています。

感染症対策で利用者さん、保護者、関係の皆様にご不便をおかけした期間もありましたが、職員の忍耐強い取組みにより乗りきることができました。また、各地から報道される福祉施設に関する残念な出来事に接するにつけ、当園の課題にも気付かされます。

今年度後半も利用者さんへのより良い支援に努めて参りますので、第二新生園への変わらずのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



平成 28 年度決算報告

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

貸借対照表

勘定科目		金額	勘定科目		金額
資産の部	流動資産	129,979,530	負債の部	流動負債	14,403,188
	固定資産	475,922,400		固定負債	9,919,074
				負債の部合計	24,322,262
			純資産の部	基本金	173,029,425
				国庫補助金等特別積立金	144,913,274
				その他の積立金	155,919,000
		次期繰越活動増減差額		107,717,969	
資産の部合計		605,901,930	負債及び純資産の部合計		605,901,930

資金収支計算書

(自) 平成 28 年 4 月 1 日 (至) 平成 29 年 3 月 31 日

勘定科目		決算額	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	1,450,736
		障害福祉サービス等事業収入	240,307,482
		借入金利息補助金収入	0
		経常経費寄附金収入	69,000
		受取利息配当金収入	71,402
		その他の収入	4,001,557
		事業活動収入計(1)	245,900,177
		支出	人件費支出
	事業費支出		34,577,129
	事務費支出		21,034,101
	就労支援事業支出		1,432,348
	支払利息支出		0
	その他の支出	40,230	
事業活動支出計(2)	202,050,446		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		43,849,731	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0
		支出	設備資金借入金元金償還支出
	固定資産取得支出		2,551,500
	施設整備等支出計(5)	2,551,500	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 2,551,500	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	110,045,070
		その他の活動収入計(7)	110,045,070
	支出	積立資産支出	1,517,712
		拠点区分間繰入金支出	119,540,000
		その他の活動による支出	0
		その他の活動支出計(8)	121,057,712
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 11,012,642	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		30,285,589	
前期末支払資金残高(12)		93,504,820	
当期末支払資金残高(11)+(12)		123,790,409	

事業活動計算書

(自) 平成 28 年 4 月 1 日 (至) 平成 29 年 3 月 31 日

勘定科目		決算額	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	1,450,736
		障害福祉サービス等事業収益	240,307,482
		経常経費寄附金収益	69,000
		その他の収益	3,379,060
		サービス活動収益計(1)	245,206,278
	費用	人件費	145,189,358
		事業費	34,364,827
		事務費	21,045,471
		就労支援事業費用	1,450,723
		減価償却費	12,647,264
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,205,844		
サービス活動費用計(2)	208,491,799		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		36,714,479	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0
		受取利息配当金収益	71,402
		その他サービス活動外収益	622,497
	サービス活動外収益計(4)	693,899	
	費用	支払利息	0
その他サービス活動外費用		40,230	
サービス活動外費用計(5)	40,230		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		653,669	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		37,368,148	
特別増減の部	収益	特別収益計(8)	0
		固定資産売却損・処分損	3
	費用	拠点区分間繰入金費用	119,540,000
		拠点区分間固定資産移管費用	0
		その他の特別損失	0
特別費用計(9)	119,540,003		
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 119,540,003	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 82,171,855	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	81,667,824	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△ 504,031	
	その他の積立金取崩額(15)	108,222,000	
	その他の積立金積立額(16)	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13+14+15-16)		107,717,969	

詳細につきましては事務所に閲覧用決算書類を用意しております。

各事業から

入所・生活介護

主任生活支援員 川村真知子

4月に1名の新入所利用者を迎え、一段と賑やかな新年度が始まりました。昨年度に引き続き「楽しんでいただきたい」をコンセプトに、利用者みなさんが楽しむことができる個別外出やお楽しみ会等様々な支援を行っています。参加された方々の喜ばれている表情を見るたび、もっと笑顔にしたいという思いから、今年度は自己選択、自己決定を意識した取組みを始めました。その試みとして、8月の例会の際、利用者みなさんに、グループホーム生活とはどんなことなのかをスライドを使ってでき



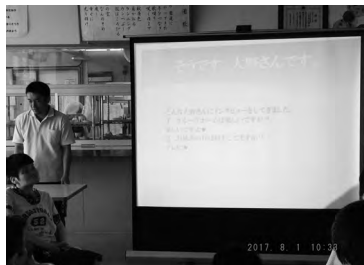
楽しめる活動(カラオケ)も充実しています



同じ写真を探すゲーム、楽しかったね!



グループホーム生活体験での清掃活動



スクリーンを使っでのグループホームでの生活を紹介



外出先にて、欲しい本を選びました

るだけ分かりやすく情報提供を行いました。その後、自立生活訓練棟(「まゆの里」)での体験参加希望や参加した時の食事の種類を絵や写真から選択していただき、今回は利用者さん10名がこの体験に参加しました。これも帰るでも日帰り旅行で

通所・生活介護

生活支援員 石橋英幸

利用者のみなさんが楽しみにしている活動は戸外に出ることです。

の昼食やお楽しみ会での菓子等、利用者さんを選択する機会は設けてきていますが、今後も自分で選び決めることの喜びや満足感を味わっていただけたらという支援していきたいと考えています。



花巻空港に行って来ました



ジュースを手に、カンパイ!



あぜ道を散歩中



何を描いているのかな?



日帰り旅行での昼食選び

中でも日常的な散歩は健康維持のためにも大切な支援と考えています。実際には、利用者の年齢による体力やその日の体調を考慮して複数にグループ分けをし、それぞれに歩く距離の調整を図りながら取り組んでいます。ご存知のように当園は田んぼに囲まれていて見通しも良く、散歩には最適な立地条件です。春の芽吹き、満開の桜、黄金色の田んぼ、遠くの方に見える岩手山の眺めなど季節の光景を感じながら歩くことは気分も爽快です。会話などを楽しみながらの散歩は気づけばあつと言う間で、



創作活動も真剣です



力仕事もおまかせ！園庭の草集め

夏も冬も何のその、利用者の笑顔が溢れています。その他、個別の余暇支援も楽しみにされています。ドライブ、買い物、プール、ネイルアートなど内容は多岐ですが、行きたい場所やってみたい事を利用者に決めて頂くようにしており、満足そうな笑顔が見られます。



プランターに花を植えています

ただ、何かに挑戦する事や打ち込む事も欠かせないと感じます。作業活動や創作活動なども取り入れるようにしていますが、時には難しいと感じる場面もあります。しかし

し、出来なかつた事が出来るようになった時、出来る事がさらに出来る様になった時などに得ることが出来る成実感も生活を豊かにするために必要だと思えます。今後も利用者さんの満足度が高まる支援に一層努めて行きます。

就労継続支援B型

支援二課長 野中直子

就労継続支援B型では、地域の企業様からの受託作業、園の畑を使った農作業を中心に作業を提供してきています。

春は絹さや、スナップエンドウ、ズッキーニ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの栽培に挑戦しました。夏野菜は、なす、ピーマン、じゃが芋、そして毎年大好評の枝豆です。収穫物は送迎時に保護者の皆様に買っていただいたており、「安くて美味しい」との声が利用者、職員の大きな励みとなっています。



じゃが芋の収穫



まゆの里記念日で野菜を売りました



依頼を受けた花壇づくりです

分たちが育てた物を販売する機会を増やしていきたいと思えます。一方、外出支援（オープン日）も継続しています。春の日帰り旅行では小岩井農場でジンギスカン食べ放題、バター作り体験をしました。また、外食や買い物物の機会も設けています。

継続して作業を頂戴している企業さんを始め、時期になると苗の提供、草刈り、アドバイスをしてくださる農家さん、そして、昨年より花壇づくりの依頼を受けてる盛岡市内の店舗さんからはさらに広い面積の依頼をいただきました。皆様には本当に感謝しています。これからも利用者みなさんの声を取り入れながら作業や余暇支援の充実に努めて行きたいと思えます。



スナップエンドウ



農家さんに負けないおいしい枝豆です



皆で枝豆もぎ

【春の日帰り旅行 5月17日(水)~7月18日(火)】

年度初めの大きな行事！皆がとても楽しみにしている日帰り旅行1回目です。
春の自然を満喫しながら、飲んで、食べて、見て大満足の日帰り旅行でした。

入所は3グループに分かれて
小岩井農場へ。



通所は2グループに分かれて
「田沢湖」へ。



就労継続B型が小岩井農場へ
それぞれ行って来ました。



【お花見 4月25日(火)】

毎年楽しみにしている、豪華お花見弁当！間近から見る名所「月の輪形」の桜はもちろん、第二新
生園食堂裏手の桜並木も素晴らしい眺めでした♪



【チャグチャグ馬コ交流会 6月5日(月)】

今年はなんと仔馬も一緒に2頭の馬コが来てくれました。優しい瞳の馬コたちとふれあい、癒され
ました。



【まゆの里記念日 8月4日(金)】

お待ちかね！お買い物形式で自分の好きなジュース、お菓子、かき氷を選んで食べました。今年は
就労継続B型の利用者さんによる野菜販売もありました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとう
ございました。



【外部ボランティアさんによる 「お楽しみふれあい会」】 7月4日(火) 8月12日(土)

ボランティアさんの協力によるバラエティに富んだ娯楽の機会として定着しつつある「お楽しみふれあい会」。7月は、高橋じゅん子さんによるオカリナとミュージックベルの演奏会。優しい音色にみんなが癒されました。8月には岩手医科大学パフォーマンス同好会の学生のみなさんが、普段見ることの少ないジャグリングなどを披露。掃除用モップや赤いコーン（工事現場で見かける"パイロン"）を巧みに操るパフォーマンスには拍手喝采でした。後期もどんな方が来てくださるか、みんなで楽しみにしています。



「お知らせ」

職員の異動

お世話になりました
生活支援員 木幡 彩
(退職)平成二十九年九月二十日付

平成29年度後期の 主な行事予定

- 十月 秋の日帰り旅行
福祉サービス第三者評価受審
- 十一月 すてきなパーティ
- 一月 年祝い・成人を祝う会
- 二月 利用者健康診断
- 三月 寿司の日

編集後記

今回、編集に携わり、みなさんの写真をじっくり見ているいろいろな行事を思い出す良い機会になりました。ブログの方にも行事の記事が載っていますのでぜひご覧ください。(Y・O・K)

